

ゆし! のひろげ



宮古島市教育委員会
広報誌

第4号

2013/2/4日発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島



特集 21世紀にふさわしい
学校教育の実現を目指して
「宮古島の教育を語る市民大会」について

下地中学校

CONTENTS

- ◆ 平成25年 宮古島市成人式
- ◆ 第2回高校生学芸員企画展
- ◆ キッズアスリートプロジェクト

- ◆ 定例教育委員会等の開催状況
- ◆ 新教育委員あいさつ

- ◆ わだいの広場

連載1 パニパニ☆スクール

- ◆ 学力向上推進校・北小学校
「キャリア教育」研究指定校・鏡原中学校
北小、鏡原中が研究の取組みを発表

連載2 文化財を巡る

- ◆ 【速報】友利元島遺跡発掘調査



特集

フューチャースクール推進事業・学びのイノベーション推進事業 21世紀にふさわしい 学校教育の実現を目指して一下地中学校で実証研究

未来の教育の姿を下地中で実証研究

平成22年度から総務省が導入した「フューチャースクール推進事業」、その翌年・平成23年度からは文部科学省と連携して「学びのイノベーション事業」もスタートしました。これらの事業は急速に進む情報化を教育分野でも取り入れ、「児童生徒一人1台の情報端末による教育」を未来の教育の姿として見据え、「21世紀にふさわしい学校教育の実現」を目指し、ICT^{*1}教育環境を活用した21世紀にふさわしい「学び」の実証研究を行うもので、全国18校(小学校8校、中学校8校、特別支援学校2校)を指定し事業が行われています。

その実証校の一つが、下地中学校です。市教委の応募採用に応え、ICT教育環境の導入における整備面や実証研究に対し適度な生徒数・教員数であることから、実証校に選ばれました。

生徒・教員が1人1台のタブレットPCを持ち、普通教室や理科室・技術室にはIWB(インタラクティブ・ホワイト・ボード)等が設置され、デジタル教材を使用した指導方法の開発や効果の検証、これまでの一斉授業に加え「個別学習」、「協同学習」を取り入れた学びの実証研究が行われています。

昨年11月には、公開授業で実証研究の成果が発表され、多くの参観者からの意見も実証研究に活用されており、2月15日(金)には、2回目の公開授業が予定されています。

平成25年度で総務省・文科省による本事業は終了しますが、平成26年度以降は市が継続して研究を進めていく予定となっています。

^{*1} Information and Communication Technologyの略で、情報や通信に関する技術の総称。



- a) タブレットPCを使い、グループ学習する生徒
- b) 生徒及び教員に1人1台ずつ配布されているタブレットPC
- c) 全普通教室、理科室、技術室に各1台あるIWB(インタラクティブ・ホワイト・ボード)

ICT機器導入で 学習意欲・授業への集中力高まる

下地中学校では、全国共通の実証研究に加え、校内独自の取組みの一環として「言語活動の充実を図る授業の工夫・改善 ～ICT機器の効果的活用を通して～」をテーマに実証研究を行っています。

テーマを柱に、ICT機器の導入・活用を通して、①確かな学力の向上、②学習意欲の向上、③教職員の資質向上の解決に向けて研究を進めており、同時に校務の情報化も推進。校務の情報化で、情報共有・ネットワークづくりを構築し、効率化によって得られた時間と情報等を生徒に還元できるよう研究を進めています。

そのほか、デジタル教科書を使った授業を行う等言語活動に資するICT利用シーンの蓄積や効果測定を行い、有識者で構成する地域協議会など関係機関へ提言しています。

さらに、離島の距離的ハンディを克服するために通

信回線の活用事業を取り入れ、音声ソフトskypeを使って台湾・漢口国民中学校との「国際交流」で現地の生徒と会話したり、英語の授業ではカリフォルニアとつないで英語でインタビューを行うなど、遠隔地との交流に利用しています。

このような取組みや授業に宮國校長は、「ICT機器の導入により、生徒の学習意欲・授業への集中力は高まっている。これまで培ってきた良い指導方法は残しながら、タブレットPCやIWBを使ったどのような授業で学習効果が上がるのか、試行錯誤しながら一歩ずつ実証研究を進めていきたい」と今後の取り組みにも意欲を見せています。

また、生徒からは「数学の図形の説明で、タブレットPCやIWBで図を動かしたり、画面に直接記入できるので理解しやすい」、「デジタル教科書の朗読機能で、古典の朗読が一人ひとりのペースで聞くことができわかりやすい」と新しいツールでの学びの理解が高まっている様子が伝わってきます。

各教科におけるICT活用事例

社会科での活用事例 「地図帳の索引と引き方」

書画カメラで地図帳を取り込み、IWBに拡大表示。そうすることで、必要な箇所を拡大表示できます。IWB上にペンで書き込んだり、消したりすることが簡単にできるので、教師はとても説明しやすくなりました。

生徒も重要なポイントにマークをすることで説明している箇所が一目でわかり、理解しやすくなりました。



→書画カメラで
地図帳を取り込む



理科での活用事例 「根・葉・莖のつくりとはたらき」

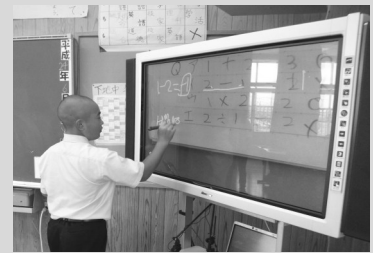
教師がプレゼンテーションソフトで作成した自作教材を各自のタブレットPCに配布して使用します。生徒はタブレットPCのペン機能で種類分けをし、個人での学びの後、グループで意見を出し合い、考えがまとまったグループの画面をIWBに表示し全体に向けて発表します。



数学科での活用事例 「数と範囲の四則」

生徒の代表がIWBのペン機能を使って考え方を発表。他の生徒は、表の考え方を参考にして、自分の考え方をより良く構築していきます。

ICT機器とノートのやりとりを通して学びを高めています。



英語科での活用事例 「コミュニケーション能力を高める」

Skype機能を活用してカリフォルニアとつなぎ、英語での質問を通してコミュニケーションの能力を高める授業です。授業での導入には、google earthを使って距離感を模擬体験することができました。ICT機器を効果的に授業に導入することで、生徒の言語活動が活発になることが期待できます。



「宮古島市の教育を語る市民大会」

2月の第3日曜日は、
宮古島市「教育の日」です！

を開催します！

市

では、教育に対する市民の関心と理解を一層深めると共に、家庭、学校及び地域社会の連携の下に市民全体で教育に関して取り組んで行こうと、2月の第3日曜日を「教育の日」として定めています。

「教育の日」に関連して児童・生徒や一般(高校生含む)から学校・家庭教育、社会教育など様々な「教育」の視点による標語を募集し、3点の最優秀作品と6点の優秀作品が決定しました。

また、2月17日(日)には「宮古島市の教育を語る市民大会」を開催し、宮古島市出身大学生と中学生を交えた公開フリートークを行います。

「島力～夢を描こう、今からここから～」をテーマに4名の大学生が、夢を抱き実現していく過程で、どんな悩みがあってどう解決していったか、進路に悩む地元中学生とトークします。

たくさんの市民の皆さんのご来場お待ちしております。



「教育の日」標語入賞者



小学生の部

中学生の部

一般の部

最優秀賞
おかあさん
いつもまるつけ ありがとう
平良第一小学校一年 しゃしき ゆみこ

優秀賞
コツコツと 予習復習くり返し
努力の精神 鍛えよう
久松小学校五年 佐久田 樹里

けしゴムが
ちびになるまで がんばるぞ
平良第一小学校三年 下地 邑亜

最優秀賞
えんぴつを 走らせた分
身につく知識(ちから)
城辺中学校二年 平安山 桃華

優秀賞
教え合い 友と感ずる 学ぶ喜び
池間中学校一年 浜川 葉

学ぶだけ 未来の自分が 咲き誇る
福嶺中学校二年 松川 朋加

最優秀賞
育てよう 未来をになう 子供達
宮古高等学校一年 狩俣 貴哉

優秀賞
あいさつが 元気いっぱい までいだつ子
平良地区 知念 節子

「今」を努力
「夢」のために 「自分」のために
宮古高等学校三年 西泊 綾佳

公開フリートーク

テーマ「島力～夢を描こう、
今からここから～」

○コーディネーター

宮古高等学校 教諭 大城 徹 氏

○出演者

大学生4名/市内中学生2名
東京大学・慶応義塾大学
愛知東邦大学・琉球大学

宮古島市
出身大学生

多くの市民のご来場
お待ちしております！

■日時 2月17日(日)

14:00 受付

14:30 オープニング

北中学校吹奏楽部サクソフォ四重奏
久松中学校ダンスチーム

■場所 宮古島市中央公民館 大ホール

大会日程

14:45 開会行事
15:00 表彰式
教育功労賞/模範児童生徒/標語入賞者
15:30 本市の学力向上対策について(15分程度)
15:50 公開フリートーク(80分程度)
17:10 閉会行事

連載① パニパニ☆スクール vol. 3



学力向上推進研究発表会

ペアやグループで「学び合う」
授業のようすを公開

北小学校では、平成24年度から市教育委員会の学力向上推進校の指定を受け、児童が意欲的に「学び合い」ながら、「基礎的・基本的な知識・技能」を活用して課題を解決する「活用能力」を高める授業づくりをめざした研究に取り組んでいます。



11月27日には同校で学力向上推進研究発表会が開かれ、低・中・高学年による国語と算数の公開授業や研究発表、活発な研究協議が行われました。

同校は、ペアやグループでお互いに力を合わせ、助け合いながら学び合う「協同学習」を取り入れた授業づくりの研究を進めており、その授業の様子を公開授業でみることができました。



国語の公開授業（4年生）の様子



キャリア教育研究発表会

ジョブシャドウイングなど
体験活動を発表

県教育委員会・市教育委員会の指定を受け、平成23年度から「キャリア教育」の研究に取り組んでいる鏡原中学校。「豊かな勤労観・職業観を育み、自立に向け積極的に行動する生徒の育成」をテーマに研究しており、11月30日にその研究発表会が行われました。

ジョブシャドウイングや職場体験、職業講話などの各学年における体験活動や菊づくりを通して学んだ

事などを発表した中で、職業講話について発表した3年生のグループは、「将来の目標に向かい、今何を頑張るかを考え、実行するようにしている」と学んだことを発表しました。

また、同校ではキャリア教育の一環として、毎週水曜日の朝、働く大人を講師に招き「職業講話」を開いたり、学年の枠を越えて活動する「縦割りグループ」等の取り組みを行っています。



1年生 ジョブシャドウイング

働く大人（メンター）の後ろを「影」のようについてまわり、働く様子を間近で観察すること。鏡原中のほかに、市内4校（鏡原・宮原・狩俣小、西辺中）で実施。仕事や職種に関する視野を広げてもらう機会としている。

事前学習

企業人講話、マナー講習でお辞儀や名刺交換の練習を行い、事前に職業人としての心得を学習。



体験実施



仕事って楽しい？大変？働く大人（メンター）の姿をみて、体験した生徒からは「将来こういう風に真剣に仕事に取り組みたい」、「仕事は楽しくやらないと」などの感想があり、将来の夢や進路を考えるきっかけとなっています。

連載② 文化財を巡る

友利元島遺跡発掘調査速報

宮古島市教育委員会では、平成二十四年十一月から平成二十五年一月にかけて友利元島遺跡の発掘調査を行いました。今回は、その発掘調査の成果の概要を紹介したいと思います。

友利元島遺跡は、これまでに二回の発掘調査が行われ、一七七一年度の明和の大津波の痕跡が確認された遺跡として県内では広く知られています。今回の発掘調査でも、この明和の大津波の痕跡が確認され、その当時に亡くなったと考えられる人骨も発見されています。

今回の発掘調査では、その他にも大きな発見が二つありました。その一つは、明和の大津波の層の下から、約七〇〇年前のグスク時代に埋葬された人骨が発見されたことです。この人骨は、骨の発達状態から未成年だと考えられ、両手をお腹のあたりであわせるようにして埋葬されています。この人骨の年代の決めでとなったのが、人骨の右肩部分から発見されたカムイヤキです。カムイヤキは、十一、十四世紀にかけて鹿児島県の徳之島で焼かれた陶器です。今回出土したカムイヤキは、全く破損することなく、完全な状態で残っており、県内でも数少ない貴重な資料の発見となりました。

もう一つの発見は、約二九〇〇、一九〇〇年前に位置づけられる無土器時代の生活層が発見されたことです。この層からは、当時の人々が食料とした大量のイノシシの骨や魚骨、貝類とともに、無土器時代の人々が使用した道具であるシヤコガイの斧が十二点出土しています。無土器時代の主な遺跡は、宮古島城辺の東海岸沿いで多く発見されていますが、今回の発見で、その当時島の南側にも同じように人が生活していたことが明らかとなりました。また、この無土器時代の層からも、埋葬された人骨が一体発見されています。この人骨は、男性で、非常に筋肉が発達していたことが分かっており、両足とも膝を折り曲げた状態で、両腕も肘を曲げた状態で埋葬されています。

今回の発掘調査のように、グスク時代と無土器時代の生活層が同じ遺跡から確認されたのは、友利元島遺跡が初めての事例となります。今後は、年代測定分析などの科学的な解析を行いながら、遺跡の詳細な性格について考えてまいります。



約700年前の人骨の検出状況

事例となります。今後は、年代測定分析などの科学的な解析を行いながら、遺跡の詳細な性格について考えてまいります。

定例会・臨時会の開催状況

第8回(11月27日)、第9回(12月27日)定例教育委員会、第3回(12月5日)臨時教育委員会が開催されました。下記の議案等について審議が行われ、暴風雨時における学校給食の取扱いに関する要領が制定されました。また、平成24年12月4日付けで任期満了の教育委員長について選挙が行われ、宮國博教育委員長が再任されました。

【主な審議事項】

- 暴風雨時における学校給食の停止等に関する要領について
- 宮古島市立図書館協議会委員の委嘱について
- 宮古島市教育委員会事務決裁規程の一部を改正する訓令について
- 宮古島市教育の日報彰規程の一部を改正する訓令について
- 宮古島市教育委員会委員長の選挙について
- 宮古島市教育委員会委員長職務代理者の指定について

新教育委員あいさつ



新教育委員
下地 信輔 委員

あせらず、腹を立てず、じっくり考える

昨年12月、新しく教育委員に任命されました下地信輔です。宮古島の子どもたちの学力向上にすこしでも貢献できるよう、あせらず、腹を立てず、今、何が必要かそして必要とされているか、じっくり考え教育委員会のみなさまと一緒に「心豊かな、思いやりのある子どもたち」そして「文武両道」をめざし教育委員会のみなさまと共に頑張ります。よろしくおねがいします。

宮古島市 成人式

平成25年

716人が新成人に！門出を祝う

1月5日(土)、平成25年宮古島市成人式が平良、城辺、下地、上野、伊良部の各地区で一斉に挙行され、716人の新成人がそれぞれの決意を胸に大人としての一步を踏み出しました。

平良地区で行われたオープニングセレモニーでは、中学校時のアルバムや恩師の先生方によるメッセージがスライドショーで流れると会場は盛り上がり、アトラクションでは「宮古龍獅団」「新風太鼓」「宮古高等学校吹奏楽部」の皆

さんが花を添えました。

式典では、「みやこ少年少女合唱団」による市歌の斉唱に続き、下地敏彦市長のメッセージ、市議会の富永元順副議長による祝辞を頂きました。また、「二十歳の決意表明」として、5名の新成人が壇上で抱負や決意を発表し、式典の会場ロビーには、親や親戚から送られた「お祝いのメッセージ」が紹介されました。



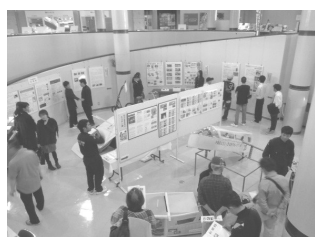
第2回 高校生学芸員企画展 特別展示

高校生が展示会を すべてプロデュース！

市総合博物館で、12月15日～1月13日の期間、特別展示「第2回高校生学芸員企画展」を開催しました

展示のレイアウトからパネルの作成・展示、広報に至るまでのほぼ全ての工程を高校生が行いました。参加団体は、総合実業高校の家庭クラブと水産クラブ、宮古高校の生物部と美術部、伊良部高校の自然クラブ、宮古工業高校のエコデン部とカート同好会、宮古特別支援学校の木工班・窯業班・家政班の計10団体でした。

最終日には、高校生による展示解説や研究発表、エコデッカー・カートの試乗会や水産クラブの開発商品の試食会がおこなわれました。



展示会場の様子



展示解説をする生徒

キッズアスリート プロジェクト

夢の陸上キャラバン隊

トップアスリートと 子どもたちが交流

トップアスリートとの交流を通して、広く地域の子子どもたちに陸上の楽しさを伝えようと、12月7日に市陸上競技場で「キッズアスリート・プロジェクト 夢の陸上キャラバン隊」が開かれ、市内の児童400名が参加しました。

江里口匡史選手(短距離100M)、八幡賢司選手(110Mハードル)、戸邊直人選手(走高跳)、海老原有希選手(やりなげ)による競技のデモンストレーションを皮切りに、「走る」「跳ぶ」「投げる」の基本レッスンコーナーが開かれ、参加した児童はトップアスリートから直接アドバイスを受けていました。レッスン後は、児童と選手の混合チームでリレー対決が行われ、参加した児童がトップアスリートとバトンをつなぎリレー競走を楽しみました。



第5回子ども博物館 「みゃーくふつでおしゃべり」

市総合博物館で、12月9日(日)に第5回子ども博物館「みゃーくふつでおしゃべり」を開催しました。

講師に天久宏氏をむかえ、人の体をあらわす言葉や、数をかぞえる言葉、人や動物をかぞえる言葉などを方言で学びました。

また、郷土民話大会で市長賞を受賞した砂辺康介くん(平一小2年)・教育長賞を受賞した下里琉佑奈さん(東小3年)による民話の発表を行い、最後は「お正月」の歌を方言にかえて全員で合唱をしました。

参加した全員が、普段まったく方言を使わないということもあり、「難しかった」との感想が多く聞こえましたが、宮古の言葉に親しみをもつきっかけとなりました。



平成24年度 青年リーダー研修会

2月15日(土)、「沖縄県の青年会と青年団について」をテーマに、城辺公民館にて平成24年度青年リーダー研修会が開催されました。

研修会では、講師に沖縄国際大学教授・名城敏氏、協力アドバイザーに沖縄女子短期大学教授・稲福純夫氏を招き、浦添市の内間青年会の活発な活動の事例を紹介していただきました。

講師の名城氏は、「地域の青年団の文化活動の意義は、世代を超えた文化の伝承と創造にあり、伝統を媒介とした創造の営みがなければ連続性は保たれない」と青年会の重要性を訴えました。

また、沖縄のシマ社会と青年会の関係から、「集落、シマ社会に青年会が存在している」、「青年会が消滅しても、集落というシマ社会がある限り青年会の再生の道は用意されている」と青年会活動の持続を呼びかけていました。



クリスマスおはなし会

12月22日(土)、平良図書館でボランティアグループおはなし会「たまたまばこ」のみなさんによる、「クリスマスおはなし会」が開催されました。

おはなし会は、会場の児童室がぎゅうぎゅう詰めになるほどチビッコ達が参加し、大盛況でした。フィンガータップ「くろねこのタンゴ」によるオープニングからサンタさんの登場まで、てんこ盛りの楽しさでした。

そして、この日の貸出冊数は604冊になり、おはなし会を楽しんだ家族は、プレゼントと本を片手にニコニコ大満足の1日となりました。



上:オープニングフィンガータップ「くろねこのタンゴ」

下:サンタさんの登場に子ども達は大喜び

2月・3月の行事

○おはなし会たまたまばこ(2・3月)

平良図書館:毎週土曜日
城辺図書館:第1日曜日

○宮古島の教育を語る市民大会

2月17日/市中央公民館大ホール

○第6回子ども博物館

「渡り鳥の観察会・閉校式」

2月24日/市総合博物館

○マティダライブ

2月24日/マティダ市民劇場
入場料 500円(全席自由)

○第23回企画展

「現代宮古の作家たちIX」

2月23日~3月24日/市総合博物館



小・中学校 卒業式の日程



3月10日(日)	【中学校】 佐良浜、伊良部
3月12日(火)	【中学校】 平良、北、鏡原、西城、砂川、下地池間小・中
3月13日(水)	【中学校】 久松、西辺、狩俣、城辺、上野、福嶺来間小・中
3月19日(火)	【小学校】 狩俣
3月20日(水)	【小学校】 平一、南、鏡原、福嶺、砂川
3月21日(木)	【小学校】 北、東、久松、宮原西辺、西城、城辺、下地、上野、佐良浜、伊良部
3月22日(金)	【小学校】 宮島

